



平成二十三年第四回市議会臨時会が七月十五日(金)に開催されました。

この臨時会では市長から提出された、一般会計補正予算議案一件について審議が行われました。

東日本大震災による災害復旧対策及び被災地支援など緊急を要する経費について、補正措置を講ずるものでした。

補正予算の対応については、放射能対策として学校・保育園・幼稚園などが自主的に校庭等の表土除去を実施する場合は重機等の費用について、市が負担すること、また、災害廃棄物(石や瓦等のがれき)の処理業務委託及び東北地方の被災地でボランティア活動を希望する方を募集し派遣する経費に関するものであります。

補正予算議案は、一般会計に一億三千三百三十万円を追加し、歳入歳出予算の総額を三百五億四十万円とし、原案のとおり可決されました。

平成23年第4回大田原市議会臨時会 審議された議案と結果

議案番号	議案件名	結果
議案第64号	平成23年度大田原市一般会計補正予算(第4号)(補正額1億3330万円)	原案可決



平成二十三年第五回市議会定例会(九月定例会)は、去る九月五日(月)から二十日(火)までの十六日間を会期として開催されました。なお、本定例会は、夏期の電力需要対策により、消費電力のピーク時間を避けるため、通常より一時間早い午前九時から開会いたしました。

審議された案件は、初日に継続費精算並びに健全化判断比率及び資金不足比率に関する報告二件、教育委員会委員の任命に関する人事案件一件、条例の一部改正議案六件、平成二十二年度歳入歳出決算の認定を求める議案十件、物品の取得に関する議案一件、市道路線の廃止に関する議案一件、今年度補正予算議案四件が市長から提出され、議会からは陳情一件が提出されました。

また、最終日には市長から追加議案一件と、議員提出議案として、市議会委員会条例の一部を改正する条例の制

定議案一件、容器包装リサイクル法の見直しを求める意見書提出の議案一件をそれぞれ提出し、本定例会では合計二十九件の審議等が行われました。

主な議案としては、東日本大震災により、被災した市本庁舎について、現在の事務所配置では、市民に対する行政サービスの低下を招きかねないため、仮庁舎整備事業費として、七億八千六百万円を計上し、東日本大震災による災害復旧費など、特に緊急を要する経費等について補正措置が講じられ、補正額は十二億八千四百五十万円とし、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ三百十七億八千四百九十万円となり、原案のとおり可決されました。

九月定例会は決算議会と呼ばれるように、前会計年度の歳入歳出予算の執行結果の実績に関し認定する権限があります。そのため、十四日には、平成二十二年度一般

会計及び八件の特別会計並びに水道事業会計について、議員全員で構成する決算審査特別委員会を設置して審査を行いました。

一般質問については、三日間で十二人の議員が登壇しました。東日本大震災に関する災害復旧、福島第一原子力発電所の事故によって引き起こされた放射能問題や新エネルギー政策である太陽光発電パネルの補助金等についての質問があり、復旧・復興について議論がなされました。

全議案の審議結果については、左記の一覧表をご覧ください。また、一般質問については四ページ以降をご覧ください。